

下京区まちづくり運営方針（案）

【将来像・目指す姿】

住んでよし 若者や子育て世代に選ばれる、豊かな自然と人のあたたかさが感じられるウェルビーイングなまち
働いてよし 伝統産業と先端産業が集う、歴史と未来が交差し働く人みんなが元気に輝く、活気あふれるまち
訪れてよし 歴史と都市の賑わいが調和する、訪れるたびに新しい出会いがあるまち
学んでよし 地域に息づく歴史や文化、芸術を世代を超えて学び合う、学藝のまち

【まちづくりの方向性】

1 地域コミュニティが元気なまち

持続可能な地域コミュニティづくりに向けて、区役所が人と人・人と活動をつなぐ結節点となり、住民同士のつながりづくりや、地域活動への参加促進、多様な主体の世代や分野を超えた地域活動への参画を進めます。また、社会・地域課題解決の推進を目指し、図書館・学校などの開かれた公共空間づくりや、まちづくり事業へのサポート、地域の方々と様々な団体・事業者との交流機会の拡充、地域活動の ICT 化への支援などの取組を進めます。

2 誰もがいきいきとくらせるまち

はぐくみ文化の推進に向けて、オール下京での子どもと家庭を育む地域ぐるみの環境づくりや、特に支援が必要な子ども・家庭への切れ目のない支援、自己肯定感を高めることができる主体的に学び育つ環境づくりを進めます。また、誰一人取り残さない支え合いのまちづくりを目指し、地域の絆や顔の見える関係を構築するための多様な見守り活動や居場所づくり、人生 100 年時代を見据えた健康づくりや介護予防などの取組を進めます。

3 自然環境を大切にすまち

環境と調和した活動を敬い大切にすまちづくりに向けて、「門掃き」など京のまちに根付く生活習慣を学び大切にするとともに、地域での清掃活動や学区におけるエコ活動の推進、梅小路公園や高瀬川などの自然と触れ合う機会の創出などの取組を進めます。

4 誰もが安心安全にくらせるまち

誰もが安心安全にくらせるまちづくりに向けて、地域の方々と行政だけでなく団体・事業者も巻き込んだ地域防災力の強化や、防犯・防火活動、交通安全対策等についての各団体間の連携・協働などの取組を一層推進します。

5 文化・芸術・産業を活かしたまち

地域住民だけでなく世界中からお越しになる方々からも愛されるまちづくりに向けて、伝統産業・生活文化の魅力向上に取り組むとともに、芸術系高校・大学、産業支援機関、京都駅前や商店街等の多様なポテンシャルが存在する強みを活かし、文化・芸術・産業が交差し融合する多様な取組を進めます。また、「京都学藝衆構想」の実現に向け地域におられる特技や技能を持つ方と連携した取組を進めることで、将来にわたって

このまちの自然・歴史・文化・まち柄を継承していくことを目指します。

【推進にあたって】

- ・ 推進期間は令和8年度から令和12年度までの5年間
- ・ 行政と区民、区民同士の対話の機会を積極的に創出し、地域の実情やニーズを踏まえたタイムリーな施策を実施します。